

5月は「あいさつ」を頑張りました！

学校集会は、「先月のきらりさん」と「今月頑張っしてほしいこと」について話をしています。

「4月のきらりさん」は、6年生の富田陸君と5年生の下村翔君を紹介しました。陸君は、車の轍の残った運動場整備を自分から進んでやってくれました。「みんなのために」「体を使って働く」姿が素晴らしいと思います。翔君は「無言で」「一生懸命」掃除したことが素晴らしいとほめました。後姿から一生懸命さが伝わります。この時、しゃべったのは掃除道具の場所を尋ねただけでした。後はずっと無言で掃除をしていました。毎月「きらりさん」がいっぱいで、うれしくてたまりません。また、来月も紹介します。

さて、その後話したのが「今月頑張っしてほしいこと」でした。5月は「いつでも どこでも だれにでも 心伝わるあいさつ」について話しました。

これは、山鹿市の学校教育指導の重点の項目の一つです。あいさつは、「人の心をつなぐ魔法の言葉」です。あいさつの約束として、5つを掲げて頑張りました。（右表）すると、まあどうでしょう。みんなとてもあいさつが上手になりました。5・6・7・8区の子どもたちは、友枝造園様宅を過ぎて少しするとすぐあいさつしてくれます。正門からの声は職員室まで聞こえてきます。「あ、遅れた」と私も慌てて交通指導に飛び出して行く合図になるくらい大きな声です。5・9・10・11区の子どもたちは、三号線の向こう側からきちんと帽子をとって車の音に負けないくらいの声であいさつしてくれます。1・2・3区は、私が見えると北門から入る前に帽子をとってきちんと一礼してくれます。毎日気持ちの良いスタートが切れます。廊下ですれ違ったり、教室を見に行ったりしても「校長先生おはようございます」と言ってくれます。名前を呼ばれると自分を大切にしてくれていることが伝わってきて本当にうれしくなります。

5月は「校長先生とあいさつ勝負をしましょう」と言っていたら、子どもたちがよく頑張るので、たくさん負けてしまいました。最後に、3年生の古江かやさんからもらったお手紙を紹介します。

こうちょう先生へ

いつもわたしをよろこばせてくれてありがとうございます。あいさつのとき、こうちょう先生にわたしがかったとき「あーまけた」ということばで、わたしがかったと思うので、すごくうれしいです。これからも、あいさつをがんばろうと思いました。こうちょう先生もあいさつをがんばってください。古江かやより



あいさつの約束

- 1 立ち止まって
 - 2 帽子をとって
 - 3 大きな声で
 - 4 一礼して
- プラス

5 名前を呼んで

梅ちぎり

野口さんのご厚意で、1・2・3年生に梅ちぎり体験をさせていただきました。朝からの雨で心配しましたが、子どもたちの元気が雨雲を吹き飛ばし、梅ちぎりを満喫した子どもたちでした。なんとちぎってきた梅の重さは、自分たちの体重よりも重い37キログラムもあったそうで、収穫の喜びを十分に味わうことができました。教室では、3年生が収穫後の選別をし、おいしい梅ジュースづくりが行われました。みんな「おいしい梅ジュースになあれ」と魔法をかけているようです。出来上がったジュースに目を細める子どもたちの姿が、今から目に浮かぶようです。貴重な体験の機会をいただいた野口さん、お手伝いいただいた西さんには大変お世話になりました。



※先週末にかけて、学校関係者の家族が陽性となり、用心のため通知文を出させていただきました。その後、学校関係者も保健所の判断で、濃厚接触者となり、PCR検査を受けましたが、陰性という結果でした。いろいろとご心配をおかけし、大変申し訳ありませんでした。冷静な対応をしていただいたことに、心からお礼申し上げます。今後も、コロナウイルス感染症予防に関して最大限の努力を行ってまいります。ご心配をおかけし大変申し訳ありませんでした。